



The Institute of Electronics, Information and Communication Engineers

電子情報通信学会 特別号 April 2018

情報・システムソサイエティ誌

IEICE INFORMATION AND SYSTEMS SOCIETY JOURNAL

平成30年度ソサイエティ活動

情報・システムソサイエティ次期会長
相澤 清晴
東京大学



情報・システムソサイエティ(以下, ISS)は, 情報処理技術の基礎から応用までの分野を研究領域としています。その中には, 情報と通信と人を融合する分野も含まれています。ISS には, 約 11,000 名の会員がおり, 現在, 3 万人を越える電子情報通信学会の中で, 通信ソサイエティとならんで最大規模のソサイエティです。

本ソサイエティの役割は, 会員に研究発表と交流の場を提供することです。ひいては, 重要な社会基盤である情報技術分野の持続的な発展と情報社会での様々な問題解決に貢献することです。ISS が同研究分野の日本での中心的活動母体であり続けるために, 平成 30 年度は, 下記に重点を置いて活動を展開します。

■論文誌, 研究会, 大会等の強化

✓論文誌

論文は研究の最終成果であり, できるだけ多くの研究者に届くように努力を継続します。平成 29 年の 1 年間には, 英文誌, 和文誌, それぞれ 934 件と 374 件の論文(レター含む)投稿があり, それぞれ 378 件と 99 件の論文が厳正な査読を経て採択されました。

英文論文誌では, 平成 29 年 1 月より他ソサイエティに先がけて, 過去の発行論文を含めた全論文のオープン公開を始めました。その結果, アクセス数は大幅に増加しました。さらに投稿数の増加につながる方策を検討していきます。また, 英文, 和文論文誌ともに, 編集委員, 査読委員の増強と質向上に, 継続的に取り組んでいます。

✓研究会

平成 29 年の一年間で, ISS の研究会では, 総計 2,644 件の発表がありました。研究会活動のさらなる充実を図ります。そのために, 資料の完全電子化, 参加費・登録費制度の実施, スポンサーシップの促進, ショートペーパー論文の受け入れ, 活性化準備金の活用を進めていきます。

研究会資料である技報の電子化は, 平成 29 年から試行してきました。平成 30 年からは, 完全に電子化へ移行します。それに伴い, 研究会への参加費・登録費制度を設け, 資料を電子的にダウンロードできるようにします。ISS の個々の研究会ばかりでなく, 全研究会のパッケージの年間登録も安価に(15,000 円!)可能となります。ぜひご利用ください。

研究会へのスポンサーシップなどの新たな方策も試行し, 活動の充実化を進めます。研究分野も大きく変化しており, その研究会の相互連携の在り方も検討していきます。

✓総合大会, FIT

総合大会, FIT は, 広い情報分野の研究者での意見交換や学生の研究発表の場として有効です。平成 29 年の総合大会において, ISS では, 406 件の発表があり, FIT では, 469 件の発表がありました。

総合大会の学生ポスターセッションは盛況で, このセッションだけで, 毎年 200 件以上の発表(うち 150 弱が ISS)があります。また, ウェルカムパーティなどの交流の企画も平成 30 年 3 月の大会から始まりました。FIT では, 活発な研究会活動との連携を高めます。さらに, これまでの 2 学会に加えて, 情報処理関係の学会が連携を行い発展すると考えています。

✓ソサイエティ誌

ソサイエティ誌は, ISS の広報として位置づけられてきました。現在のものを継続・充実しながら, より時代に即した形態を模索していきます。

以上のように, 様々な取り組みを進めています。その取り組みは, いずれも会員へのサービス充実につながります。ボランティアで成り立つ運営の在り方も, 継続的に見直します。

ぜひ, ISS で, 素晴らしい成果を発表し, 多くの会員にお伝えいただければと思います。また, 運営へのご意見があれば, ぜひお寄せください。

情報・システムソサイエティ誌とは？

情報・システムソサイエティが 1996 年度より年 4 回発行しているソサイエティ会員向けの情報誌です。

内容は、ソサイエティからのお知らせ、研究専門委員会の動向、研究室紹介、フェローの方々による寄稿、連載コラムなど、会員の皆様の役に立つ情報を満載しております。

特に、毎号の巻頭言には、電子情報通信分野の著

名な方々から寄稿を頂き、好評を博しております。今後も学生や企業の方などより幅広い方々に役立てて頂けるよう、ますます内容の充実を図る予定です。

情報・システムソサイエティ誌は、情報・システムソサイエティに登録をすれば自動的に送付されます。以下でも更に詳しく御紹介します。

ISS 達人へのステップ 1

情報・システムソサイエティ (ISS) への登録を

電子情報通信学会では 1995 年 4 月よりソサイエティ制になり、会員はいずれかのソサイエティに属することになっています。

これから学会に入会される方はもちろん、複数のソサイエティへの登録を希望される方も、ぜひ ISS に御登録下さい。なお、複数に登録する場合の ISS ソサイエティ

誌及びオンラインジャーナル購読の追加登録料は 3,500 円(学生は 2,000 円)です。ISS への追加登録を御希望の方は、早急に下記の様式で御連絡下さい。

購読のほかに ISS の様々な特典が利用できます。また、ISS 論文誌を購読する場合はステップ 2 を参照して下さい。

ISS 達人へのステップ 2

情報・システムソサイエティ (ISS) の論文誌は和英 2 種類

基本登録でオンラインジャーナル(和・英論文誌)の閲覧が可能です。追加登録を御希望の方は早急に下記の様式で御連絡下さい。

なお、和文論文誌 D 及び英文論文誌 D のキーワードは下記のとおりです。

キーワード：

情報・システム基礎／計算機システム／ソフトウェアシステム／ソフトウェア工学／データ工学、Web 情報システム／情報ネットワーク／ディペンダブルコンピューティング／人工知能、データマイニング／ヒューマンコンピュータインタラクション／オフィスインフォメーションシステム、e-ビジネスモデリング／教育工学／福祉工学

パターン認識／音声、聴覚／画像・映像処理／画像認識、コンピュータビジョン／コンピュータグラフィックス／マルチメディア処理／自然言語処理／バイオサイバネティクス、ニューロコンピューティング／生体工学／音楽情報処理／感性情報処理

連絡先： E-mail: kaiin2@ieice.org Phone: 03-3433-6691(ガイド番号:1) Fax: 03-3433-6659

名 前 (会員番号)
所 属
連絡先 〒
Phone: Fax: E-mail:
ISS ソサイエティ追加 (オンラインジャーナルとソサイエティ誌)

*なお、オンラインジャーナルの閲覧は登録処理後からとなります。
(現在、英文論文誌 D はオープンアクセス化を実施中です。)

ISS 達人へのステップ3

情報・システムサイエティ (ISS) 所属研究会の年間登録を

ISSには下記の23の第一種研究会があり、年間数回の研究会にあわせその技術研究報告書（技報）が出版されています。平成30年度からは、技報完全電子化に伴い、ISSの研究会に参加される場合には、聴講参加費（表1）を研究会参加の都度お支払い頂くか、研究会に年間を通じて参加できる研究会年間登録費（表2）を年に1回お支払い頂くことになりました。研究会年間登録して頂くと、当該年度の当該研究会で発表される全ての技報電子媒体ダウンロードすることができ、参加の都度聴講参加費を支払うよりも安価なので年間登録をお勧めします。技報オンラインシステム (<https://www.ieice.org/ken/user/>) から、ユーザ登録（既登録者は不要）し、**[技報完全電子化]参加費・年間登録費のお支払い/ダウンロード権の購入**から御登録下さい。

なお、これまで研究室・部署・組織・機関といった複数名の利用者グループ単位で技報を閲覧することを目的に年間予約をされていた場合や過去から現在までの全てのISS研究会の技報電子ファイルをダウンロードしたい方にお勧めのサービスとして、「技報アーカイブ(ISS)」もスタートしました。「技報アーカイブ(ISS)」のお申込みは、学会事務局研究会担当までご連絡ください。

各研究会の研究分野の詳細については <http://www.ieice.org/jpn/kensenmon4.html> を御覧下さい。

表1：研究会聴講参加費

	オンライン申込（税別）		当日現金払（税込）	
	会員	非会員	会員	非会員
一般	2,500 円	3,500 円	3,000 円	4,000 円
学生	無料	1,000 円	500 円	2,000 円

注：学生で技報電子ファイル不要の場合は聴講参加費無料

表2：研究会年間登録費

研究会（記号）	年間登録費(円)	委員長
ME とバイオサイバネティクス(MBE)	8,000	中島 一樹(富山大)
ライフインテリジェンスとオフィス情報システム(LOIS)	8,000	西 宏之(崇城大)
画像工学(IE)	8,000	浜本 隆之(東京理科大)
言語理解とコミュニケーション(NLC)	6,000	金山 博(日本 IBM)
コンピュータシステム(CPSY)	8,000	中野 浩嗣(広島大)
コンピューテーション(COMP)	6,000	伊藤 大雄(電通大)
人工知能と知識処理(AI)	4,000	峯 恒憲(九大)
ソフトウェアサイエンス(SS)	6,000	緒方 和博(北陸先端大)
データ工学(DE)	6,000	灘本 明代(甲南大)
パターン認識・メディア理解(PRMU)	8,000	佐藤 真一(NII)
ディペンダブルコンピューティング(DC)	8,000	井上 美智子(奈良先端大)
ニューロコンピューティング(NC)	8,000	萩原 将文(慶大)
知能ソフトウェア工学(KBSE)	6,000	金田 重郎(同志社大)
音声(SP)	8,000	山下 洋一(立命館大)
教育工学(ET)	8,000	宮寺 庸造(東京学芸大)
医用画像(MI)	8,000	森 健策(名大)
ソフトウェアインタプライズモデリング(SWIM)	4,000	宇田川 佳久(東京工芸大)
リコフィギャラブルシステム(RECONF)	6,000	本村 真人(北大)
情報通信システムセキュリティ(ICSS)	8,000	白石 善明(神戸大)
情報論的学習理論と機械学習(IBISML)	8,000	福水 健次(統計数理研)
マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント(EMM)	8,000	岩村 恵市(東京理科大)
クラウドネットワークロボット(CNR)	6,000	小野 哲雄(北大)
サービスコンピューティング(SC)	4,000	白 寅天(会津大)
ISS 全研究会への年間登録	15,000	

FIT2018 第17回情報科学技術フォーラム

選奨論文・一般論文 講演募集案内



【会期】2018年9月19日(水)～21日(金)

【会場】福岡工業大学(福岡市東区和白東3-30-1)

FIT2018 Web ページ <http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2018/>

受付期間: 2018年4月10日(火)～6月7日(木)

電子情報通信学会 情報・システムサイエティならびにヒューマンコミュニケーショングループは情報処理学会と2002年から合同で毎年秋季に、「情報科学技術フォーラム(FIT: Forum on Information Technology)」を開催しており、2018年9月に第17回を福岡工業大学で開催します。

FIT2018 より「既発表論文紹介」を導入します。他会議等で既に発表された論文を紹介される場合にご利用下さい。詳細は上記 FIT2018Web ページをご確認下さい。従来の「選奨論文」と「一般論文」は引き続き募集します。「選奨論文」の中から、船井ベストペーパー賞及び FIT 論文賞を、「一般論文」の中から FIT 奨励賞を選定し表彰します。また、「選奨論文」「一般論文」の中から、若手研究者を対象に優れた発表をした方を選定し、FIT ヤングリサーチアワードとして表彰します。

【FIT 論文表彰制度】

船井ベストペーパー賞	選奨論文の中から FIT 学術選定委員会で審査の上、3件選定 賞金は船井情報科学振興財団より20万円贈呈
FIT 論文賞	選奨論文の中から FIT 学術選定委員会で審査の上、7件程度選定 賞金は FIT 運営委員会より5万円贈呈
FIT ヤングリサーチアワード	2018年12月31日現在で33歳未満の講演者の中から、特に優れた発表をされた方を選定 賞金は FIT 運営委員会より3万円贈呈
FIT 奨励賞	一般論文のセッション毎に座長の裁量で優秀な発表を1件その場で選定(該当なしもあり) FIT 後に賞状贈呈

多彩なイベントが企画され広範な分野の研究者が一堂に会する本フォーラムは、皆様にすばらしい研究成果発表の場を提供いたします。奮って御応募下さい。詳細は逐次上記 FIT2018Web ページに掲載いたします。

○● 電子情報通信学会 情報・システムサイエティ誌編集委員会 ●○

- 副会長(編集会議担当)
- 峯松 信明(東大 mine@gavo.t.u.tokyo.ac.jp)
- 編集委員長
- 神原 誠之(奈良先端大 kanbara@is.naist.jp)
- 編集幹事
- 林 良一(NTT hayashi.ryoichi@lab.ntt.co.jp)
- 金子 晴彦(東工大 kaneko@c.titech.ac.jp)
- 特任編集幹事
- 菅谷 史昭(マインドワード fsugaya@mindword.jp)
- 松居 辰則(早大 matsui-t@waseda.jp)
- 宮崎 修一(京大 shuichi@media.kyoto-u.ac.jp)
- 坪下 幸寛(富士ゼロックス Yukihiro.Tsuboshita@fujixerox.co.jp)
- 門田 啓(NEC a-monden@bk.jp.nec.com)
- 篠崎 隆宏(東工大 shinot@ict.e.titech.ac.jp)
- 企画広報幹事
- 富森 英樹(富士通研 tomimori.hideki@jp.fujitsu.com)
- 和文論文誌編集副委員長
- 岩野 公司(京都市大 iwano@tcu.ac.jp)
- 英文論文誌編集幹事
- 高間 康史(首都大東京 ytakama@tmu.ac.jp)
- 編集委員
- 堀瀬 友貴(東京女子医大 horise.yuki@twmu.ac.jp)
- 茂木 学(NTT motegi.manabu@lab.ntt.co.jp)
- 高橋 桂太(名大 keita.takahashi@nagoya-u.jp)
- 榊 剛史(ホットリンク/東大 t.sakaki@hottolink.co.jp)
- 小川 周吾(NEC s-ogawa@ak.jp.nec.com)
- 吉仲 亮(東北大 ry@ecei.tohoku.ac.jp)
- 八槨 博史(東京電機大 yamakih@mail.dendai.ac.jp)
- 肥後 芳樹(大阪大 higo@ist.osaka-u.ac.jp)
- 大塚 真吾(神奈川工科大 otsuka@ic.kanagawa-it.ac.jp)
- 松原 大輔(日立 daisuke.matsubara.ba@hitachi.com)
- 金子 晴彦(東工大 hkaneko@fuji.cs.titech.ac.jp)
- 橋 完太(工学院大 kanta@cc.kogakuin.ac.jp)
- 橋浦 弘明(日本工業大 hashiura@nit.ac.jp)
- 滝口 哲也(神戸大 takigu@kobe-u.ac.jp)
- 中山 祐貴(早大 nakayama@aoni.waseda.jp)
- 平野 靖(山口大 yhirano@yamaguchi-u.ac.jp)
- 黒瀬 晋(NECソリューションイノベータ s-kurose@pd.jp.nec.com)
- 宮島 敬明(JAXA miyajima.takaaki@jaxa.jp)
- 恐神 貴行(IBM 東京基礎研究所 OSOGAMI@jp.ibm.com)
- 日置 尋久(京大 hioki@i.h.kyoto-u.ac.jp)
- 神原 誠之(奈良先端大 kanbara@is.naist.jp)
- 細野 繁(NEC s-hosono@bu.jp.nec.com)
- 河野 義広(東京情報大 ykawano@rsch.tuis.ac.jp)
- 上原 稔(東洋大 uehara@toyo.jp)